

2022年度 事業計画書

特定非営利活動法人 相模原ボランティア協会

《事業計画概要》

2022年度は、2年間続いたコロナ感染症も減少の傾向にありますが、4回目のワクチン接種をいう専門家もいるので予断を許さないと考えています。相模原市はすでに4月開催の桜まつりを中止しました。

当協会は、市社協から新しい理事を迎え8人態勢でスタートします。

これからのボラ協は、従来の事業の継続ばかりでなく市社協との協働や地域ボランティアとの連携等を図りボランティア不足やボランティアの高齢化を乗り切って行かねばならないと思います。特に相模原市のボランティア人口は減少しており、ボランティアの拡大を最重要と考え「ボランティア養成講座」の開催に力を入れていきます。

又、「広報事業」は情報発信という重要な役割を担っています。昨年度開設したフェイスブックや協会ホームページの活用を積極的に行っていきます。

「財源問題」については寄付・募金の促進、イベントでのバザーの展開、協賛団体の獲得や切手グループなどの寄付など重要な課題です。さらに2021年度検討したボラ協の今後の在り方「持続可能なボランティア協会を考える」を真剣に取り組んでいきたいと思っています。

相模原ボランティア協会は、相模原市や市民のために貢献する協会として頑張っていきたいと思っていますので会員の皆様の絶大なるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

《事業内容》

1. 高齢者、障がい者への援助活動

(1) HC 運行事業

「福祉有償運送」の登録団体である当協会は、協会所有福祉車両およびセダン型自家用車両による単独では外出困難な方のための福祉移送援助事業を行っていきます。新型コロナウイルスの感染が収まっていない現状を踏まえ、感染防止対策の徹底を行ったうえでの活動を進めますが、感染状況によっては活動を一時中止するなどの対応を図ります。なお、引き続き「かながわ福祉移動サービスネットワーク」に加盟します。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・実施場所 相模原市内及び周辺地域（相模原市役所を起点として直線30km以内）
- ・従事者 当協会会員 年間総数は延べ約600名を見込みます。
- ・対象者 市内（旧市域）の障がい者、高齢者、延べ800名を見込みます。
- ・支出見込 交通費、燃料費、車両維持費、車両減価償却費、活動旅費、駐車場賃借料等

合計 2,605,000 円

(2) 高齢者への傾聴ボランティア活動

2014年から始めた居宅訪問型の高齢者の傾聴ボランティア活動ですが、新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの活動となります。利用者も慎重に利用されることが多く、利用拡大には困難な状況です。そこで、2022年度は私たちの傾聴活動を正しく理解し、利用について検討いただけるよう、居宅ケアマネージャーの皆様と説明できる機会を持つべく検討を進めます。そして、実際の活動の場では、いいコミュニケーションができていることから、長い目で見て粛々と活動を継続してまいります。

傾聴委員会としては、活動の連絡調整を行い、課題があれば改善し、活動の広報などを行って利用の促進を図ります。

- ・実施時期 年間を通じ実施します。
- ・対象者 独り暮らしや種々の状況のために孤立しがちな方を対象とします。
- ・実施場所 原則として居宅へ訪問します。
- ・従事者 当協会員を派遣します。
- ・支出見込 交通費、研修費他として 140,000 円

(3) ボランティア団体とのネットワークづくりと交流事業等

(イ) ほかほかふれあいフェスタ2022の開催

障がい者、ボランティア、市民との交流行事「ほかほかふれあいフェスタ2022」を開催し、相互理解の機会とします。(実行委員会参加方式)

- ・実施時期 10月15日(土)及び11月26日(土)(障害者週間キャンペーン)の日程で実施します。あじさい会館ロビーでの参加団体紹介展示は10月9日～15日。
- ・実施場所 10月はあじさい会館とウェルネスさがみはら前広場で、11月はサンデック相模大野で開催予定です。
- ・従事者 障がい者などの当事者団体との実行委員会形式とし、さらに当日参加のボランティアを募る方式です。当協会員の参加は50名を予定します。又、相模原市、市教育委員会、市社会福祉協議会、市社会福祉事業団の後援を予定します。
- ・対象者 市内の障がい児者、一般市民を対象とし各2,000名の当日参加を見込みます。
- ・支出見込 実行委員会形式のため、分担金方式となります。当協会は 50,000 円の支出を予定します。

(ロ) 障がい児者とのボウリング大会

障がい児者との交流ボウリング大会を開催します。(理事会、実行委員会)

- ・実施時期 2月に開催します。
- ・実施場所 市内の相模原パークレーンズ様のご厚意によりレーンの無償提供を予定します。
- ・従事者 ボランティアや当事者団体との実行委員会形式とし、当協会の参加は約10名とします。
- ・対象者 障がい児者、家族、付き添い、ボランティアで約80名を予定します。
- ・支出見込 46,000 円

(ハ) その他援助事業

相模原市社会福祉協議会ボランティアセンターと協働して、小地域では対応が難しい障がい者、高齢者等のニーズの発見と対応に努めるとともに、外出援助、訓練介助、保育、行事援助等のボランティア派遣を行います。また、ボランティア活動機会の増加のために“いるかバンク制度”の活用を行います。

家具転倒防止に関する活動については、新しくボランティアを確保し、態勢を整えて活動する方向で検討します。

さらに、当協会では“人との交わりが苦手な若者”を受け入れ、社会体験や人との交流体験の場を提供する就労支援や高齢者を対象とした「住まい探しサポート事業」に協力してきました。今年度もこれらの活動を継続してまいります。

- ・実施時期 年間を通して実施します。
- ・対象者 障がい者、高齢者
- ・実施場所 相模原市及び周辺地域
- ・実施者 当協会の会員を派遣します。

2. ボランティア養成に関する活動

当協会の基本精神である「市民による市民のための地域福祉向上」のために、ともに取り組む仲間づくりに役立てることを目的とします。目下の状況の下では会場の確保や集まることに対する問題もあり、どのようなことがどのようにできるのかについては十分な検討が必要です。ただ、このような状況下でも必要な講座、可能な講座のありかたを追求し、できるものから実施していきます。

[ボランティア養成講座]

- ・実施時期 7月および3月
- ・実施場所 あじさい会館および周辺の施設を予定します。
- ・従事者 7月（夏講座）には傾聴ボランティア養成を目的とした講座を計画します。3月（春講座）には2021年度で実施したようなSDGsにからめて、新しいボランティア活動各種を紹介するような講座を計画します。
- ・対象者 主として相模原市に在住、在勤の者を対象とし、30名程度の参加を見込みます。
- ・支出見込 **198,000円**

3. 情報発信に係る事業

(1) ぼらんていあ通信の発行（広報委員会ばら通部会）

当協会の広報誌としての役目を担う「ぼらんていあ通信」を毎月発行します。ぼらんていあ通信は協会活動の予告や報告を掲載するほか、当協会や地域で活動しているボランティア団体の情報、各種ボランティアグループの状況をできるだけ採り上げ、協会員以外の団体・機関でも閲覧いただき、身近なボランティア活動の広報誌として活用できる楽しいものにします。

- ・実施時期 当協会の機関紙として毎月発行します。
- ・配布先 会員への郵送を原則としますが、市内の学校、公民館、福祉施設、協賛企業などにも無料で配布します。また、ホームページにも掲載します。
- ・従事者 1回の編集につき、それぞれ担当者数人が関わる予定です。
- ・支出見込 ぼらんていあ通信発行費として **326,000円**

(2) ホームページの公開（広報委員会情報部会）

協会ホームページの更新を随時行い、市民への情報発信に努めます。また、事務局と会員間及び会員相互間の通信手段として活用できるよう内容充実に努めます。

- ・実施時期 当協会のホームページを逐次充実させ、内容の更新を図っていきます。
- ・従事者 更新担当者数名が関与します。
- ・対象者 ホームページ閲覧者であり、月に1,000人規模を見込んでいます。
- ・支出見込 回線サーバ使用料、メンテナンス費用として **20,000円**

(3) 外部に発信できるコンテンツの制作

2020年度から開始したこの活動は、新型コロナ禍においてもリモートでの利用も可能であり、情報交換、交流、啓発、養成に役立つものと考え、推進していきます。さらにネットワークを利用した発信にも適用可能であり、様々な利用方法を広く検討しながら進めていきます。当面は、個人にスポットを当てたインタビュー動画などを発信すべく準備を進めます。また、必要に応じてイベントなどへの対応を行います。

4. 相模原市、市社会福祉協議会等の事業への参加及びボランティア団体との交流

(1) 市民桜まつりへの参加

2022年度の相模原市民桜まつりは、新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年に続き相模原市より中止の通知がありました。

2023年度の参加に向けて準備いたします。 ・支出見込 年間 8,000円 (次年度分)

(2) 市社会福祉協議会への加盟

市社会福祉協議会へは引き続き加盟します。

・支出見込 年間 5,000円

(3) 東林まつり等の地域福祉祭りへの参加

市社協南ボランティアセンターの開催するイベント等に参加します。

・実施場所 東林公民館、南区地域福祉交流ラウンジなど

(4) 相模原災害ボランティアネットワーク (SSV) への参加

当該団体の運営委員として、行政、他地域関連、防災訓練等に係わっています。

・実施場所 あじさい会館 (毎月定例会及び役員会開催)、その他

・支払見込 年会費 3,000円

5. その他活動

(1) 法人運営、法人運営事務及びHC運行調整事務のための活動

当協会の運営が円滑に進められるよう理事会、各委員会等を定期的に行います。事務局においては法人運営のための庶務部門とHC調整部門があります。これからも事務局員の研修等事務局機能の改善・強化を図ります。

・支出見込 総会費、委員会交通費、研修講習費、事務局運営費として 595,000円

(2) 財源確保のための活動

認定NPO法人制度による税制の優遇措置のPRに努めるほか、賛助会員の募集を行い、活動財源の確保を目指します。

① 認定NPO法人の税制優遇措置制度を活用した募金活動

② 地区でのイベントなどの機会をとらえてのバザー、模擬店出店など

③ 使用済みテレカや切手などの収集

④ イオングループ主催の幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加

⑤ イベント開催における協力依頼

・収入予定 750,000円

(3) 役員選出管理委員会の設置

2023年度の役員改選に向け、選挙管理規程に基づき2022年度に役員選出管理委員会を設置します。

(4) 会員交流会

会員相互の交流やコミュニケーションの活性化を目標に、親睦会や会員向けの研修など意見交換の機会を設けます。

・支出見込 10,000円